

源氏と平氏が加勢して力をのばすきっかけとなった。12世紀中頃におきた次の①、②の争いを、それぞれ何といいますか。

① 1156年におきた、院政の実権をめぐる天皇家や藤原氏の争い。
(保元の乱)

② 1159年におきた、後白河上皇に仕える人々の権力争い。
(平治の乱)

①、②の二つの戦いに勝ち、平氏政権をうち立てたのは誰ですか。
(平清盛)

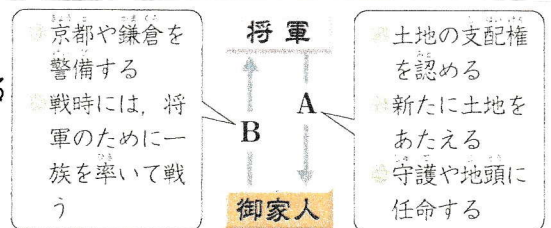
武家政治の始まり

・源頼朝は、武士の総大将として、1192年に何に任じられましたか。
(征夷大将軍)

・12世紀末に立てられた、武士の政権を何といいますか。
(鎌倉幕府)

・右の資料は、この政権における将軍と御家人の関係を示したものである。資料のA、Bにあてはまる語句をそれぞれ書きなさい。

A (御恩)
B (奉公)



・頼朝の死後、幕府の実権をにぎるようになった、頼朝の妻の実家は何氏ですか。
(北条氏)

またその一族は、何という地位を独占して政治を行いましたか。
(執権)

・承久の乱後、朝廷の監視などのため、京都に何かおかれたか。
(六波羅探題)

・御家人の権利、義務や領地の裁判などについての武家社会のならわしを、御成敗式目としてまとめたのは誰ですか。
(北条泰時)